



# エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成23年6月5日（第38号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会  
事務局 TEL（88）6637 FAX（88）3231

## ●平成23年度 総会を開催します●

『エコパートナーシップうじたわら』では、平成23年6月26日（日）午後2時から、宇治田原町総合文化センター研修室1にて平成23年度の総会を開催します。

去る3月11日に発生した東日本大震災での地震や津波の影響により東京電力の福島第一原子力発電所は深刻なダメージを受け、現在もなお近隣住民の方々は避難生活を余儀なくされておられます。

今後、節電を含めた将来のエネルギー問題をどう考えるのか、今まさに人類の英知が問われています。温暖化の進行よりも、早くこうした課題に直面することとなりました。

総会では、平成22年度の総括並びに今年度の活動方針を提案します。総会にご参加いただいた皆様でぜひ一度環境についてゆっくりとお話ししてみませんか。

総会終了後《午後3時目安》には、**（株）ユニチカ環境技術センター 関西事業所技術部部长 加洲教雄さん**をお招きし、『ゴミの不法投棄と土壌汚染【副題 生活環境への影響】』と題して基調講演を頂きます。

分かりやすいお話で、目から鱗が落ちる内容も多いかと思われまますので、一人でも多くのご参加をお待ちしています。

尚、会場では今年3月に開催し、ご好評いただきました『宇治田原の自然景観・歴史・生活環境写真展』の写真を再び展示させていただく予定です。

又、今回の総会にご参加いただいた皆様には講演会終了後、参加記念品として、もれなく**環境グッズをプレゼント**させていただく予定をしておりますのでそちらの方もご期待ください。



【昨年度総会の様子】



【エコクッキング教室の様子】

## エコクッキング教室 を開催しました

エコパートナーシップうじたわら循環型社会・地球温暖化防止部会では、4月17日（日）に維孝館中学校調理室にて25名の参加者のもとエコクッキング教室を開催しました。この季節特有の自然食材である野草、山菜を中心に、天ぷら、炒め物、汁物、御浸し、炊き込みご飯などのメニューを調理し、最後は全員で語らいながらの食事会となりました。今後もエコクッキング教室については定期的に開催していきたいと考えております。

**次の方・団体から23年度賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。**

宇治田原町区長会、宇治田原町森林組合、宇治田原町商工会、宇治田原工業団地管理組合、株式会社宇治田原製茶場、協栄開発株式会社、JA京都やましろ宇治田原支店・田原支店、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、株式会社堀口新聞販売所、米田造園土木株式会社、株式会社山岡製作所 ※平成23年5月現在（敬称略・順不同）

# エコキャップ回収の取り組みについてのお願い

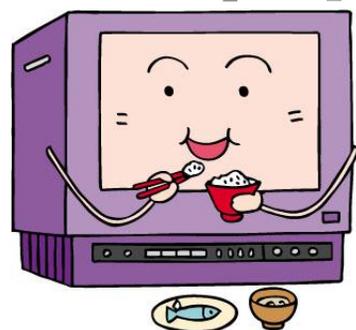
エコパートナーシップうじたわらでは、全国的な広がりを見せているエコキャップ回収運動に昨年より取り組んでおり、各公民館などに専用の回収容器を設置させていただいております。回収の対象となるエコキャップとは、ポリエチレン製飲料水ペットボトルのキャップのみとなります。

ご提供いただくエコキャップの中には、エコキャップでない混入物（金属製の飲料水蓋、一升瓶の蓋等）が時々混ざっており、エコキャップの引き取りをしていただいているリサイクル業者が大変に困っておられます。ご提供いただく方々には、以下の点に配慮いただきますようお願いいたします。



- ①リサイクルの工程で破砕機が故障するおそれがあるので、金属類（鉄、アルミ等）は絶対に入れないでください。
- ②キャンペーン用のシールなどキャップについての付属物は必ずはがしてください。

## エコポイントの二酸化炭素削減効果



環境相は閣議後の記者会見で、省エネ家電への買い替えを促した家電エコポイント制度による二酸化炭素削減効果について、「粗い試算だった」と述べた。家電1台当たりの消費電力の削減率を50～60%と見積もっていたが、実際は14～46%と大幅にずれていた。環境省は予算要求や国会説明でこの試算をもとに「家電エコポイント制度による二酸化炭素削減効果は年間400万トン」としてきた。ただPRには使用していないため、公式な修正はしないという。

環境省の試算	実 際	ずれのポイント
消費電力削減率 50～60%	消費電力削減率 14～46%	<p>①1995年製造品との買い替えを基準とし試算していたが、2009年3月時点での一般世帯の家電平均使用年数は、エアコン10.3年、冷蔵庫9.9年、テレビ9.2年。制度が始まった2009年には、国民は既に1995年製造品よりもエネルギー効率のよいものを購入していた。</p> <p>②すべて同じものに買い替えると想定されており、テレビでは32型から32型への買い替えを前提としていた。ブラウン管テレビから液晶テレビやプラズマテレビに切り替わる中で、サイズが大型化していることを考慮に入れていなかった。</p>

### ☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

#### ◆会員の区分

- ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

#### ◆会 費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

#### ◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

#### ◆部 会

- ・広報部会…会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会…河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会…生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設・環境課内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6637 FAX 0774-88-3231

Eメール：[junkan@town.ujitawara.kyoto.jp](mailto:junkan@town.ujitawara.kyoto.jp)

茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原

